



平成28年10月28日

各 位

会 社 名： 住江織物株式会社
代表者名： 取締役会長兼社長 吉川 一三
(コード番号：3501 東証第一部)
問合せ先： 執行役員経営企画室部長 新實 啓悦
(TEL 06-6251-6803)

(訂正)「平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年4月11日に開示いたしました「平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年10月28日付「過年度の決算短信および四半期決算短信の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月11日

東

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室部長 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績 (平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	66,747	12.9	2,031	92.9	2,458	88.6	1,230	66.1
25年5月期第3四半期	59,095	7.8	1,053	192.4	1,303	169.5	740	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 2,007百万円 (△21.7%) 25年5月期第3四半期 2,565百万円 (532.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	16.30	—
25年5月期第3四半期	9.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第3四半期	82,394	34,094	36.9
25年5月期	79,901	32,267	36.4

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 30,364百万円 25年5月期 29,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年5月期	—	2.50	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	3.50	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 1円00銭

3. 平成26年5月期の連結業績予想 (平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	3.8	2,400	24.9	2,900	26.6	1,800	72.1	23.85

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年5月期3Q	76,821,626株	25年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期3Q	1,365,735株	25年5月期	1,361,150株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期3Q	75,458,524株	25年5月期3Q	75,545,606株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、内需が民需、官公需ともに好調に推移し、企業業績の改善や失業率の低下が見られ、回復基調を持続しました。海外では、米国経済が寒波の影響を受けたものの底堅く推移し、欧州諸国も緩やかな回復となりました。中国は理財商品のデフォルトリスクが顕在化し、成長率の鈍化が見られ、ASEAN諸国では、消費刺激策効果が一巡したタイの内需が減速し、インドネシアは順調に成長を持続しました。

このようななか、当第3四半期における連結業績は、売上高667億47百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益20億31百万円（同92.9%増）、経常利益24億58百万円（同88.6%増）、四半期純利益12億30百万円（同66.1%増）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、受注物件の増加から売上高は前年同期を上回りました。循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」は、国内受注に加え、海外への輸出も増加し、順調に売上を伸ばしております。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、個人消費が緩やかな回復傾向にあるものの、当マーケットまで完全に波及しておらず、売上高は前年同期を下回りました。

カーテンでは、主力の「U-Life（ユーライフ）Vol.7」に加え、「Face」、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

壁紙では、「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークⅡ」がともに伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高261億70百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益3億72百万円（同115.8%増）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、カーペット事業、ファブリック事業ともに第2四半期に引き続き、前年同期比で増収増益となりました。

カーペット事業では、国内は4月からの消費税増税を前に自動車販売が好調となり、また海外でも、米国と中国において受注増となったことで、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

ファブリック事業では、国内はカーペット事業と同様に自動車販売が好調となり、海外でも、米国を中心に自動車販売が伸びたことや、中国では昨年の尖閣問題からの回復を受けた受注増により、前年同期を上回る売上高となりました。

車両関連では、鉄道向けは、新規車両の生産が停滞期を抜け、シートを含む内装材の受注が増加し、シート張替え工事も回復傾向が続いており、売上が好調に推移しました。バス向けでは、バスの新車発注が引き続き好調に推移しており、特に大型バスの高級ゾーン向け内装需要が伸び、売上に寄与しました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高366億23百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益25億67百万円（同54.7%増）となり、前年同期を大きく上回りました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、急激な円安進行によるコストアップがあり、また、市況も大きな盛り上がりには欠けたため、生産台数ならびに売上、利益ともに前年同期に届かず減収減益となりました。フィルター・消臭関連ならびに建材・土木資材関連は好調に推移し、売上高、営業利益ともに伸長しました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高38億60百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益51百万円（同73.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ24億92百万円増加し823億94百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6億65百万円増加し483億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億27百万円増加し340億94百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

年明けから日経平均は弱含みしているものの、企業業績は着実に改善しており、個人消費の持ち直しから内需も好調さを持続しております。しかしながら4月以降は消費税増税後の需要の反動減が予想され、また、中国の理財商品のデフォルトリスクや、緊迫化するウクライナ情勢の地政学的リスクを孕んでおり、先行きに不透明さが増しております。以上のような状況を踏まえ、平成26年5月期見通しは、平成25年7月12日に発表した通期業績予想（売上高850億円、営業利益24億円、経常利益29億円、当期純利益18億円）のままといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,403	5,905
受取手形及び売掛金	20,314	22,989
有価証券	275	275
商品及び製品	7,947	9,140
仕掛品	1,448	1,499
原材料及び貯蔵品	2,532	3,191
その他	3,610	3,393
貸倒引当金	△31	△26
流動資産合計	43,500	46,369
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,842	17,268
その他(純額)	9,089	9,398
有形固定資産合計	26,932	26,667
無形固定資産		
	422	489
投資その他の資産		
その他	9,207	9,018
貸倒引当金	△160	△150
投資その他の資産合計	9,046	8,868
固定資産合計	36,401	36,025
資産合計	79,901	82,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,501	17,794
短期借入金	10,526	11,910
未払法人税等	383	490
その他	4,197	3,207
流動負債合計	31,608	33,402
固定負債		
長期借入金	4,957	4,583
退職給付引当金	3,796	3,610
役員退職慰労引当金	326	258
負ののれん	133	66
その他	6,812	6,377
固定負債合計	16,025	14,897
負債合計	47,634	48,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,746	8,964
自己株式	△355	△356
株主資本合計	19,597	20,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	2,019
繰延ヘッジ損益	34	△53
土地再評価差額金	7,532	7,167
為替換算調整勘定	△50	416
その他の包括利益累計額合計	9,490	9,550
少数株主持分	3,180	3,730
純資産合計	32,267	34,094
負債純資産合計	79,901	82,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	59,095	66,747
売上原価	46,596	52,872
売上総利益	12,499	13,875
販売費及び一般管理費	11,446	11,843
営業利益	1,053	2,031
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	88	104
負ののれん償却額	66	66
持分法による投資利益	—	145
不動産賃貸料	174	180
その他	236	269
営業外収益合計	580	782
営業外費用		
支払利息	199	181
持分法による投資損失	32	—
不動産賃貸費用	36	25
その他	61	148
営業外費用合計	329	355
経常利益	1,303	2,458
特別利益		
固定資産売却益	2	1
災害に伴う受取保険金	429	—
投資有価証券売却益	—	0
その他	1	—
特別利益合計	432	2
特別損失		
固定資産除売却損	24	73
投資有価証券売却損	—	0
災害による損失	346	—
特別損失合計	371	73
税金等調整前四半期純利益	1,365	2,386
法人税、住民税及び事業税	279	789
法人税等調整額	143	52
法人税等合計	423	841
少数株主損益調整前四半期純利益	941	1,545
少数株主利益	201	314
四半期純利益	740	1,230

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	941	1,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,285	46
繰延ヘッジ損益	30	△34
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	309	505
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△54
その他の包括利益合計	1,623	462
四半期包括利益	2,565	2,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,297	1,655
少数株主に係る四半期包括利益	267	351

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,509	<u>31,098</u>	3,416	<u>59,024</u>	70	<u>59,095</u>	—	<u>59,095</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	339	4	27	371	201	572	△572	—
計	24,849	<u>31,103</u>	3,443	<u>59,396</u>	272	<u>59,668</u>	△572	<u>59,095</u>
セグメント利益	172	<u>1,659</u>	195	<u>2,027</u>	21	<u>2,048</u>	△994	<u>1,053</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△994百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,170	<u>36,623</u>	3,860	<u>66,655</u>	92	<u>66,747</u>	—	<u>66,747</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	374	15	17	406	198	605	△605	—
計	26,544	<u>36,638</u>	3,878	<u>67,062</u>	290	<u>67,352</u>	△605	<u>66,747</u>
セグメント利益	372	<u>2,567</u>	51	<u>2,991</u>	44	<u>3,035</u>	△1,003	<u>2,031</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△1,003百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,023百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正前)



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月11日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営企画室部長 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	66,722	12.8	2,216	95.9	2,643	91.3	1,351	65.2
25年5月期第3四半期	59,126	7.9	1,131	163.6	1,381	150.0	818	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 2,157百万円(△19.0%) 25年5月期第3四半期 2,664百万円(461.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	17.92	—
25年5月期第3四半期	10.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第3四半期	82,686	34,480	37.2
25年5月期	80,090	32,503	36.6

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 30,750百万円 25年5月期 29,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年5月期	—	2.50	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	3.50	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 1円00銭

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	3.8	2,400	16.7	2,900	19.5	1,800	119.4	23.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年5月期3Q	76,821,626株	25年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期3Q	1,365,735株	25年5月期	1,361,150株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期3Q	75,458,524株	25年5月期3Q	75,545,606株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、内需が民需、官公需ともに好調に推移し、企業業績の改善や失業率の低下が見られ、回復基調を持続しました。海外では、米国経済が寒波の影響を受けたものの底堅く推移し、欧州諸国も緩やかな回復となりました。中国は理財商品のデフォルトリスクが顕在化し、成長率の鈍化が見られ、ASEAN諸国では、消費刺激策効果が一巡したタイの内需が減速し、インドネシアは順調に成長を持続しました。

このようななか、当第3四半期における連結業績は、売上高667億22百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益22億16百万円（同95.9%増）、経常利益26億43百万円（同91.3%増）、四半期純利益13億51百万円（同65.2%増）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、受注物件の増加から売上高は前年同期を上回りました。循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」は、国内受注に加え、海外への輸出も増加し、順調に売上を伸ばしております。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、個人消費が緩やかな回復傾向にあるものの、当マーケットまで完全に波及しておらず、売上高は前年同期を下回りました。

カーテンでは、主力の「U-Life（ユーライフ）Vol.7」に加え、「Face」、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

壁紙では、「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークⅡ」がともに伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高261億70百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益3億72百万円（同115.8%増）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、カーペット事業、ファブリック事業ともに第2四半期に引き続き、前年同期比で増収増益となりました。

カーペット事業では、国内は4月からの消費税増税を前に自動車販売が好調となり、また海外でも、米国と中国において受注増となったことで、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

ファブリック事業では、国内はカーペット事業と同様に自動車販売が好調となり、海外でも、米国を中心に自動車販売が伸びたことや、中国では昨年の尖閣問題からの回復を受けた受注増により、前年同期を上回る売上高となりました。

車両関連では、鉄道向けは、新規車両の生産が停滞期を抜け、シートを含む内装材の受注が増加し、シート張替え工事も回復傾向が続いており、売上が好調に推移しました。バス向けでは、バスの新車発注が引き続き好調に推移しており、特に大型バスの高級ゾーン向け内装需要が伸び、売上に寄与しました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高365億98百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益27億52百万円（同58.4%増）となり、前年同期を大きく上回りました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、急激な円安進行によるコストアップがあり、また、市況も大きな盛り上がりには欠けたため、生産台数ならびに売上、利益ともに前年同期に届かず減収減益となりました。フィルター・消臭関連ならびに建材・土木資材関連は好調に推移し、売上高、営業利益ともに伸長しました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高38億60百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益51百万円（同73.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ25億95百万円増加し826億86百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6億18百万円増加し482億6百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ19億77百万円増加し344億80百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

年明けから日経平均は弱含みしているものの、企業業績は着実に改善しており、個人消費の持ち直しから内需も好調さを持続しております。しかしながら4月以降は消費税増税後の需要の反動減が予想され、また、中国の理財商品のデフォルトリスクや、緊迫化するウクライナ情勢の地政学的リスクを孕んでおり、先行きに不透明さが増しております。以上のような状況を踏まえ、平成26年5月期見通しは、平成25年7月12日に発表した通期業績予想（売上高850億円、営業利益24億円、経常利益29億円、当期純利益18億円）のままといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,403	5,905
受取手形及び売掛金	<u>20,350</u>	<u>23,014</u>
有価証券	275	275
商品及び製品	<u>8,015</u>	<u>9,286</u>
仕掛品	<u>1,530</u>	<u>1,633</u>
原材料及び貯蔵品	<u>2,581</u>	<u>3,288</u>
その他	<u>3,616</u>	<u>3,404</u>
貸倒引当金	△31	△26
流動資産合計	<u>43,740</u>	<u>46,780</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,842	17,268
その他(純額)	9,089	9,398
有形固定資産合計	26,932	26,667
無形固定資産		
	422	489
投資その他の資産		
その他	<u>9,157</u>	<u>8,899</u>
貸倒引当金	△160	△150
投資その他の資産合計	<u>8,996</u>	<u>8,748</u>
固定資産合計	<u>36,350</u>	<u>35,905</u>
資産合計	<u>80,090</u>	<u>82,686</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,487	17,689
短期借入金	10,526	11,910
未払法人税等	383	490
その他	4,164	3,218
流動負債合計	31,561	33,308
固定負債		
長期借入金	4,957	4,583
退職給付引当金	3,796	3,610
役員退職慰労引当金	326	258
負ののれん	133	66
その他	6,812	6,377
固定負債合計	16,025	14,897
負債合計	47,587	48,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,923	9,263
自己株式	△355	△356
株主資本合計	19,774	21,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	2,019
繰延ヘッジ損益	34	△53
土地再評価差額金	7,532	7,167
為替換算調整勘定	7	503
その他の包括利益累計額合計	9,548	9,637
少数株主持分	3,180	3,730
純資産合計	32,503	34,480
負債純資産合計	80,090	82,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	59,126	66,722
売上原価	46,536	52,651
売上総利益	12,590	14,070
販売費及び一般管理費	11,459	11,854
営業利益	1,131	2,216
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	88	104
負ののれん償却額	66	66
持分法による投資利益	—	145
不動産賃貸料	174	180
その他	236	269
営業外収益合計	580	782
営業外費用		
支払利息	199	181
持分法による投資損失	32	—
不動産賃貸費用	36	25
その他	61	148
営業外費用合計	329	355
経常利益	1,381	2,643
特別利益		
固定資産売却益	2	1
災害に伴う受取保険金	429	—
投資有価証券売却益	—	0
その他	1	—
特別利益合計	432	2
特別損失		
固定資産除売却損	24	73
投資有価証券売却損	—	0
災害による損失	346	—
特別損失合計	371	73
税金等調整前四半期純利益	1,443	2,571
法人税、住民税及び事業税	279	789
法人税等調整額	143	115
法人税等合計	423	904
少数株主損益調整前四半期純利益	1,019	1,666
少数株主利益	201	314
四半期純利益	818	1,351

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>1,019</u>	<u>1,666</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,285	46
繰延ヘッジ損益	30	△34
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	<u>330</u>	<u>534</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△54
その他の包括利益合計	<u>1,645</u>	<u>490</u>
四半期包括利益	<u>2,664</u>	<u>2,157</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>2,397</u>	<u>1,806</u>
少数株主に係る四半期包括利益	267	351

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,509	<u>31,098</u>	3,416	<u>59,024</u>	70	<u>59,095</u>	—	<u>59,095</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	339	4	27	371	201	572	△572	—
計	24,849	<u>31,103</u>	3,443	<u>59,396</u>	272	<u>59,668</u>	△572	<u>59,095</u>
セグメント利益	172	<u>1,659</u>	195	<u>2,027</u>	21	<u>2,048</u>	△994	<u>1,053</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△994百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,170	<u>36,623</u>	3,860	<u>66,655</u>	92	<u>66,747</u>	—	<u>66,747</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	374	15	17	406	198	605	△605	—
計	26,544	<u>36,638</u>	3,878	<u>67,062</u>	290	<u>67,352</u>	△605	<u>66,747</u>
セグメント利益	372	<u>2,567</u>	51	<u>2,991</u>	44	<u>3,035</u>	△1,003	<u>2,031</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△1,003百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,023百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。